

大島町（おおしままち）

<大島地区漁業集落>

磯刈りによる藻場の管理、漁場の監視

海藻が減少してしまう磯焼けを防止し、特に有用な天草等の資源を確保するため、それ以外の藻類を刈り取り（磯刈り・石灰藻刈り）、海藻や貝を付着しやすくしました。

漁場の監視

操業秩序の維持・密漁防止のため大島周辺漁場の監視を実施しました。

高付加価値化・販路拡大

地場産物の原材魚を加工して商品の高付加価値化を図り、島内外の学校給食や飲食店等に販路拡大を図った。また、島内での消費を促進するため、岡田売店での販売も行いました。今後も発展的に運営できるよう、生産力の向上や販路拡大により一層力を入れていく予定です。



【磯刈り作業中】



【漁場監視】



【加工品営業出張】

<元町地区漁業集落>

漁場の監視

夏季期間中の禁漁区域等での密漁防止のため、漁場監視を行いました。これにより、密漁の阻止だけでなく、遊泳者を含めた住民等の禁漁区に対する認識を高めました。

藻場の管理改善

海底の泥の中に魚礁が埋まってしまい、海藻等が付着しにくい状況のため、埋まった魚礁をひっくり返して（盤起こし）、海藻や貝を付着しやすくしました。今後もこの取り組みは継続していきます。

天草再生事業

元町地区の海域の天草は年々減少しているため、天草の胞子を流出させるスポアバックを設置し藻場の再生を図りました。

新たな漁具・漁法の導入

これまで殆ど漁獲されていない魚種（タコ）について試験的に漁業を行い、漁獲についての調査を行いました。今後も操業時期や漁具の改良などを実施していく予定です。



【漁場監視の様子】



【スポアバック投入(天草再生)】



【タコ壺設置】

新島村（にいしまむら）

<式根島地区漁業集落>

漁場監視

夏季等観光客が多く訪れる時期や冬季に漁場を監視することにより、密漁行為の防止が図られました。

低・未利用資源の活用と販路拡大

地元漁業者の水揚げ等の中の低利用・未利用の魚を買い取り、加工販売することで、漁業者の操業意欲向上と収益向上、地域住民への水産物利用の普及に繋げることができました。また、地元養殖場のマダイを使用した新たな加工品の製造をおこないました。加えて、島外に対するPR活動として、イベントに参加することができました。



【漁場監視：野伏港】



【加工品販売】

神津島村（こうづしまむら）

<神津島地区漁業集落>

漁場の生産力の向上と漁場の資源管理・改善

神津島は一本釣（特にキンメダイ）の漁獲割合が非常に高いため、一種依存による資源の減少が危惧されることから、一本釣の害敵生物であるバラムツ駆除、キンメダイ資源管理のため小型魚の標識放流を実施しました。また、アオリイカ産卵礁を設置して、他魚種の水揚げ向上を図りました。

新規漁業・伝統漁法への取組

魚種・漁法の多角化を目指し、新規漁法のヒラメ刺し網漁と伝統漁法だったウツボ漁に取組みました。また、イセエビ刺し網漁の習熟を図りました。

低・未利用資源の活用と販路拡大

低・未利用魚を加工して付加価値向上を図りました。また、新規特産品開発として、酢イカ、赤いかの刺身を開発しました。



【キンメダイタグ打ち】



【アオリイカ産卵床】



【低・未利用魚の加工】

三宅村（みやけむら）

<三宅島地区漁業集落>

漁場監視

三宅島周辺漁場における漁業並びに海面利用の秩序を維持するために、漁場監視を実施しました。

低・未利用資源の活用、高付加価値化、販路拡大の取組

- ・供給過多や規格外で水揚げ対象外だった水産物を集落で買い取り、加工品の製作販売を行いました。またマグロを材料に新商品の開発に取組み、試作品を作成しました。
- ・定置網で混獲されるニザダイについて、今後の商品化を見据え試食会を行いました。
- ・漁獲物を丁寧に取扱うことで鮮度保持を向上し高付加価値化を図るため、デリックレーンや電気ショックの貸し出しを行いました。



【漁場監視】



【加工品の販製作・販売】



御蔵島村（みくらじまむら）

<御蔵島村地区漁業集落>

漁場調査、漁礁監視・落ち伊勢エビの放流、産卵場・育成場の整備

クボガイについて分布場所、生息数、生息状況を調査することで持続的な資源活用を図りました。他県の漁船・遊漁船に対し、定期的な漁場監視を実施しました。

加工品の開発・産地ブランド化販売促進グッズの開発

流通体制の改善を目指し、販売先のない水産物を集落で買い取り、加工することで地元の学校に水産物の提供が可能となり、同時に販路拡大にもつながりました。また、水産物の鮮度保持を図るため、大型クーラーボックスの導入などを推進しました。



【漁場監視】



【大型クーラー導入による鮮度保持】



【地魚の学校給食への提供】

小笠原村（おがさわらむら）

<父島地区漁業集落>

漁場の管理改善

長期出漁の際の安全な一時避難場所、および夜間停泊場所の確保のため、賀島の小花湾内に係留ブイの交換を実施しました。

イセエビの資源管理

アカイセエビの漁獲状況が悪いままで、今後の安定的な漁獲確保が懸念されることから、継続的に標本船による試験操業の調査を行い、資源量の把握を行いました。わずかですが資源回復の傾向が見られることから、今後も継続して調査に取り組むこととしました。

新たな漁具・漁法の導入

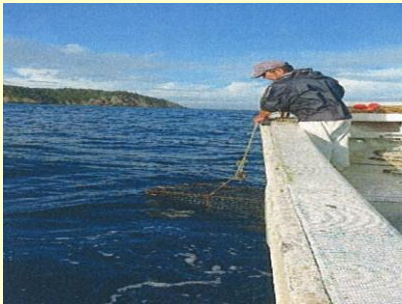
八丈島において、操業の際に餌となるムロアジの供給が不安定な状況が続く中、ムロアジ棒受網漁業の視察及びハマダイ・マグロ類の操業技術や設備等の視察を行った。

販路拡大に向けた先進地視察

主要な出荷先（気仙沼、豊洲等）において、最新の流通経路と販売状況を視察し、市場担当者等と意見交換を行いました。

新規就業者への取組

新規就業者の初期負担を軽減し、新規就業者の確保・定着を促進するため、漁船リースを行いました。



【イセエビの資源管理】



【棒受網研修】



【リース漁船】

<母島地区漁業集落>

漁場監視

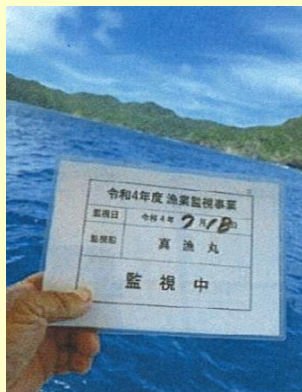
漁場の保全、操業秩序の維持及び密漁防止のため漁場監視を行いました。

流通・輸送ルート確保のための視察

漁業経営の安定化及び流通拡大のため、海上輸送業者、市場等の視察を行いました。市場担当者等と出荷後の鮮度等の状態、取り扱い方法等について意見交換を行い、改善点等の要望を受けました。

加工品の高付加価値化

加工場の改修による効率化を進め、島内産水産物の消費拡大に向けた加工商品の開発を行いました。



【漁場監視】



【流通ルート確保のための視察】

